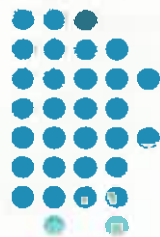


兵庫県 西宮市 生瀬地区コミュニティ交通 (=「ぐるっと生瀬」) について

西宮市 都市局
都市計画部 交通計画課



■ 本日の資料構成

- 0.はじめに
- 1.市/地域の概況
- 2.地域の取組経過
- 3.第1回有料試験運行
- 4.第2回有料試験運行
- 5.本格運行
- 6.市の支援等



生瀬地区コミュニティ交通の概要

地域住民が計画段階から主体的に関わり、専門家・交通事業者・行政等と協働のもと、その地域にふさわしい、住民目線で身の丈にあった持続可能なコミュニティ交通の運行を目指すとともに、コミュニティ交通の運行を通じて、魅力的で活力ある地域の形成を目指す。

1.持続可能な移動手段の確保とまちづくり

- 公共交通不便地域や勾配が急な地域特性をもつ生瀬地域においては、高齢者が自家用車以外で外出することが困難な状況であったが、1つの自治会の立ち上げをきっかけに、地域住民が主体的に取り組んだ乗合交通（コミュニティ交通）を實現
- 利用者ニーズを適正に捉え、地域住民が運行ルートや運賃を設定することで、利便性を高める

2.複数回の社会実験（PDCA）

- 結果を検証し、利用目的に応じた市域を跨る運行ルートを設定
- 社会実験を通じて、地域の自立性を高めるとともに、地域の合意形成を図る

3.事業目標と利用促進活動

- 目標（3年目：輸送人員100人/日）を明確に掲げ、本格運行開始後3年で黒字化を目指す
- 1年目（H27.10～H28.9）の平均輸送人員は83.7人/日であり、第1回有料試験運行の平均輸送人員43.3人/日と比べ、約1.9倍に増加



市から見た「ぐるっと生瀬」のポイント

- ✓ 行政に依存しない地域主体の取組み
- ✓ 「地域活性化」を重点目標に！
- ✓ 専門家の存在
- ✓ 地元に根付くための運行事業者の体制
- ✓ 関係諸機関との円滑な事前協議



市勢の概要

1.市/地域の概況



生瀬地域

市勢の概要

- 市制施行 大正14年4月1日
- 人口 485,819人
 - 男 230,342人
 - 女 255,477人
 - 年少人口 70,661人
 - 老年人口 110,962人
 - 高齢化率 約22.8%
- 世帯数 218,897世帯
 - ※H28.9.30住民基本台帳人口
- 面積 100.18km²
 - [市街化区域 52.25km²]
- 都市制度 中核市

- 都市宣言
 - 安全都市宣言(S37.1.10)
 - 文教住宅都市宣言(S38.11.3)
 - 平和非核都市宣言(S58.12.10)
 - 環境学習都市宣言(S15.12.14)
- 主な産業 酒造業

4

地理・地形の状況(1)

1.市/地域の概況



生瀬地域



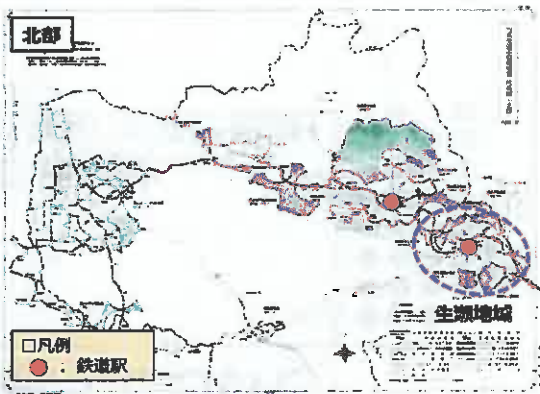
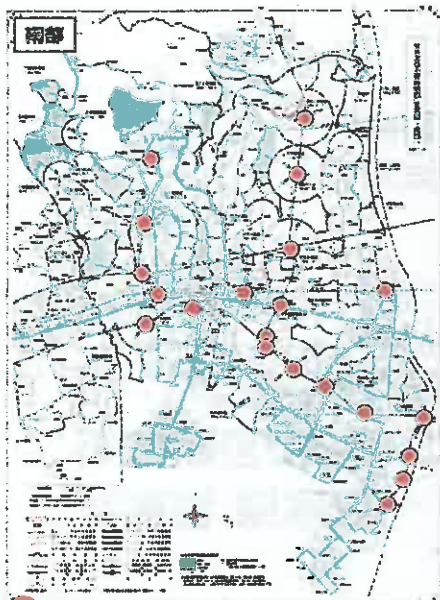
9つの自治会で構成!

- 凡例
 - 既存バス路線
 - 既存バス停

6

公共交通不便地域

1.市/地域の概況

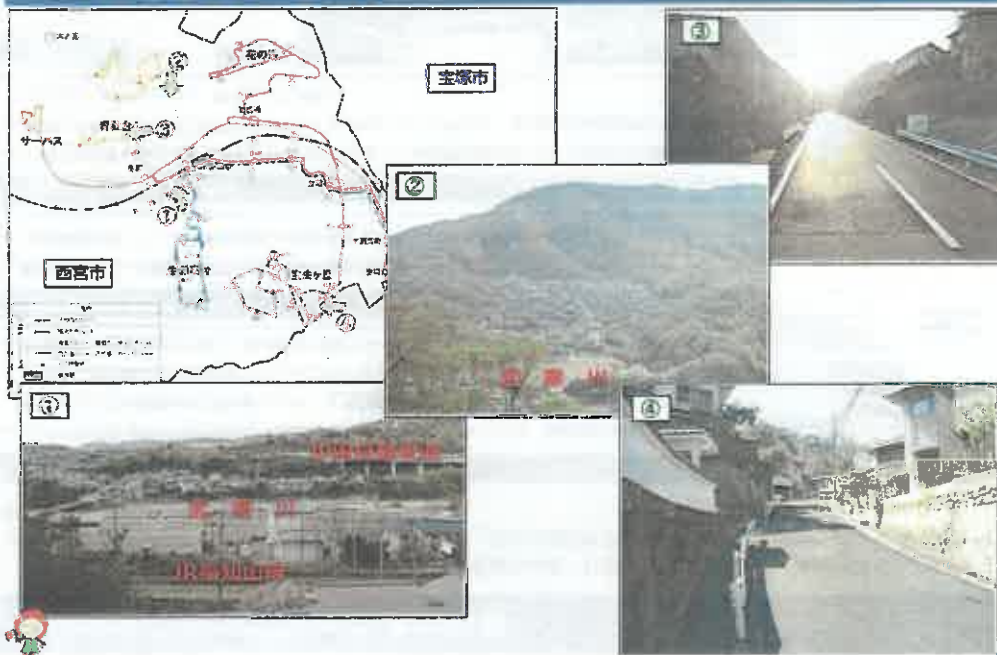


- 【バス停徒歩圏域】
 - 15本/日・片方向以上の運行があるバス停から半径300m圏域
- 【鉄道駅徒歩圏域】
 - 鉄道駅から半径500m圏域

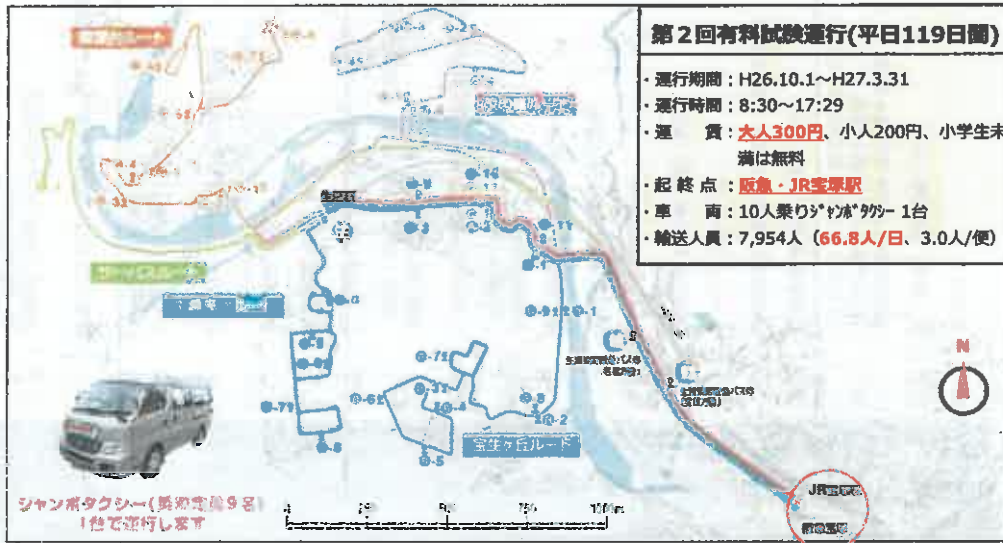
5

地理・地形の状況(2)

1.市/地域の概況



7



運行の様子



急勾配・狭隘な道路を運行



利用者同士、手を取り合い乗り降りをサポート
車内は、楽しい会話で賑わう



停留所でわいわいおしゃべり
おれに気付いたご近所さんも参加



宝塚まで、晩ご飯のお買い物



利用促進活動 (1)

■ 駅前にてPR (H26.10.1)



■ 盆踊りにてPR (H26.8.13,14)



■ 地元小学校にてPR (H26.10.3)



■ 市民文化祭 (H26.11.2,3)



■ 出発式 (H26.3.2)
※ 第1回有料試験運行

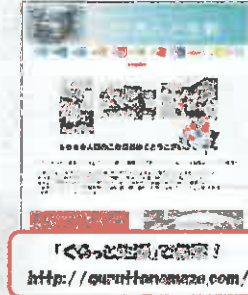


利用促進活動 (2)

■ 時刻表、ルート図



■ ホームページ



■ ポケット時刻表



■ 会報 (第1号, H27.3.1発行)



事業の概要 (平成27年度 10月～)

5:本格運行



本格運行前後の主な取組み

5:本格運行

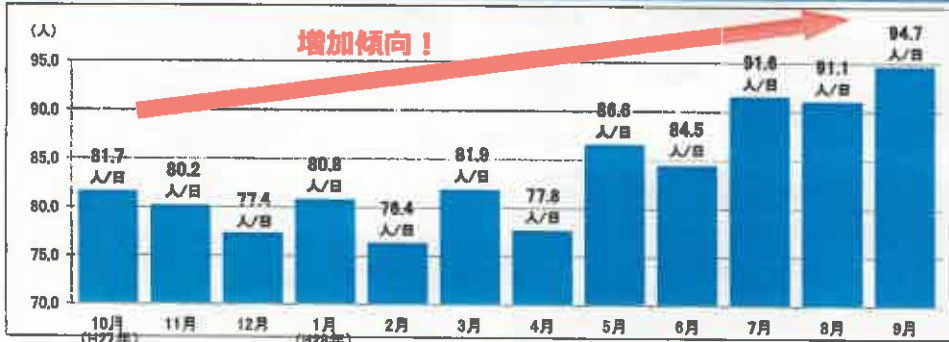
年度	平成27年度							平成28年度																																										
	5	7	9	10	11	12	1	2	4	5	7	8	9	10																																				
内容	「くまのこ」生瀬」運行協議会の発足		生瀬幼稚園/小学校にてPR		運行開始式		本格運行開始		「トライやるウィーク」の受入れ		醍醐コミュニティバスの視察		事務所の開設		ラジオにてPR		1万人達成セレモニー		未来づくりパートナー事業へ応募		阪急グループアワード受賞		1万人達成セレモニー		益踊りでPR		国土交通大臣賞受賞		ゆるキャラ選考会		「トライやるウィーク」の受入れ		敬老の集いでPR		ケーブルテレビでPR		2万人達成セレモニー		生瀬幼稚園でPR		敬老の集いでPR		文化祭でPR		未就園児のハロウィン行進へ参加		市民祭りでPR		秋祭りでPR	

※毎月1回、地元会議の実施と宝塚駅前PR活動を実施

※2箇月に1回、会報を発行

輸送人員

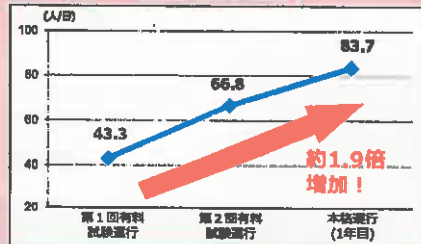
5:本格運行



■ 1年間の輸送人員など (H27.10.1～H28.9.30の平日246日間)

- ・合計: 20,599人(内、小人172人)
- ・平均: **83.7人/日**、4.19人/便
- ・収支比率: **約88%** (見込み)

【効果】 → 輸送人員の増加!



車内等の状況

5:本格運行



利用促進活動 (1)

5.本格運行

■ 会報 (一部抜粋)



取組経過



■ 回数券

→ 3,000円/冊
(300円券11枚綴り)



■ 車体広告



■ ラジオにてPR



■ ケーブルテレビにて放映



利用促進活動 (2)

5.本格運行

座談会



地域の子どもたちにもアピール！

バスの乗り方教室を開いたり、バスをみんなで守り支える大切さをPR！



小学校MM



中学校のシンポジウムに参加



幼稚園MM



保育園へ訪問

各自治会に出向き、事業内容を説明。また色々な意見や要望を聴取！

利用促進活動 (3)

5.本格運行

■ ゆるキャラ(ぐるっとちゃん)の作製



22

利用促進活動 (2)

5.本格運行

運行開始式



事務所の開設



1・2万人巡回バス



るっと生瀬



✓ 行政に依存しない地域主体の取組み

✓ 「地域活性化」を重点目標に！

✓ 専門家の存在

✓ 地元に根付くための運行事業者の体制

✓ 関係諸機関との円滑な事前協議

